

令和6年度定時総会資料

令和6年6月13日

東三河懇話会

令和6年6月13日（木）
於：ホテルアークリッシュ豊橋

東三河懇話会 令和6年度定時総会次第

- 15:30～16:15 **定時総会** 5階「ザ・グレイス」
議案1. 令和5年度事業報告並びに収支決算報告の件
議案2. 令和6年度事業計画（案）並びに収支予算（案）の件
議案3. 役員改選の件
- 16:20～17:30 **記念講演** 5階「ザ・グレイス」
講師：国土交通省 中部運輸局 局長 金子正志氏
演題：「地域交通・物流・観光分野の課題と取り組み」
- 17:40～18:30 **交流懇親パーティー** 4階「ザ・テラスルーム」

※定時総会・記念講演は、通常開催に加えてWEB配信を実施

議案1. 令和5年度事業報告並びに収支決算報告の件

令和5年度事業報告

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

令和5年度は、アフターコロナが本格化し、経済の正常化を目指す動きが進みました。旺盛なインバウンド需要に支えられた観光関連産業の復活など明るい兆しもありますが、人口減少社会の進展もあり、人手不足が一段と深刻化しています。こうした状況下において元日に能登半島地震が発生しましたが、復興はなかなか進まず、人口だけではなく災害の側面からも、東京一極集中と地方の持続可能なあり方について考えさせられる一年となりました。

このような状況のなか、産学官民交流事業における「東三河産学官交流サロン」、「東三河午さん交流会」は、ウィズコロナを前提に感染防止対策を十分講じた上でオンラインの併用などの対応をとりながら、会員の皆さまの交流機会の創出継続に努めました。また、会員企業・団体の若手・女性社員を対象とした「東三河グローバルミーティング」を2回、産学官の若手メンバーによる東三河地域で顕在化している課題等をテーマとして議論し、地域への提言に繋げる「産学官の新しいネットワークづくりのためのワーキング」では、人口減少問題を中心とした東三河地域の課題についてワーキングを通じた理解の促進と意見交換を8回開催しました。その他、「中部電力株式会社・浜岡原子力発電所」及び「藤枝市中心市街地再開発事業」の視察会を開催しました。

広域連携事業では、東三河地域のインフラ整備事業に関する情報提供・勉強の場として、「東三河地区幹線道路整備計画に関する説明会」、「三河港関連事業計画等説明会」を三河港振興会と共催しました。また、6月の定時総会記念講演会において、愛知県知事 大村秀章氏に『日本一元気な愛知をつくる』をテーマに、モノづくり産業の集積地としての愛知県の今後のあり方や、東三河地域で盛んである農業の今後の展望などについてご講演いただきました。その他、研究交流会を通して三河港の各種課題や将来のあるべき姿について専門家と会員の皆さまが意見交換を行う「三河港未来戦略会議」、フォーラムの開催やモニタリング調査などを通して、東三河地域の生物多様性の保全に対する意識啓発と取組の活性化を図る「東三河生態系ネットワーク協議会」の事務局業務を担いました。

年明けには、新春恒例の「東三河8市町村長を囲む新春懇談会」を開催し、『地域のための人づくり～持続可能な東三河地域の形成に向けて～』をテーマに本年もゲストパネラーに湖西市長を迎えてパネルディスカッションを行うとともに、中部経済同友会及び浜松経済同友会と共催の「三遠南信地区地域懇談会」を開催し、行政や地域経済団体との連携強化に努めました。

会員サービス事業では、毎月1回、会員向けの「メールマガジン」を発行するとともに、ウェブサイトの「会員専用ページ」における会員関連情報などの特定情報の掲載に加え、会員の皆さまからいただいた各種情報をタイムリーにホームページに掲載しました。また、会員意見の収集と運営への活用を目的に、「会員アンケート調査」を実施しました。

不安定な国際情勢、日米金利差による円安の進行など先が見通せない状況が続いております

が、新年度も会員の皆さまのニーズを的確に受け止め、事業運営に活かしていくとともに、新しい時代に即した地域づくりを推進するため、産学官民連携強化と交流促進に一層力を注いでまいります。会員の皆さまにおかれましては、今後も積極的なご参加をお願い申し上げます。

(1) 産学官民交流事業

①東三河産学官交流サロン

アフターコロナとして、感染状況に注意を払いながらオンラインを併用して12回開催した。産学官民の交流連携、情報交換の場を提供するため、時流に沿ったテーマを設定（上期：人、下期：産業）の上、東三河の産学官民の講師を招聘し、タイムリーな情報を発信した。

（第462回～473回 詳細後記）

②東三河午さん交流会

アフターコロナとして感染状況に注意しつつ、予定通り10回開催した。東三河において社会活動や文化芸術活動を実践し、地域づくりに貢献されている方々を紹介し、会員への情報発信を行った。

（第231回～240回 詳細後記）

③東三河グローアップミーティング

若手会員相互の新しいつながりや、地域づくりを考えることからの学びと自己成長を目的としたパネルディスカッションと視察会を開催した。

（詳細後記）

④産学官による新しいネットワークづくりのためのワーキング

令和5年度は、前年に引き続き産学官の若手メンバーが地域で顕在化している課題等をテーマに討論するワーキングを8回開催。人口減少問題からテーマを絞り込み、『東三河地域における若者の雇用・定着』について3グループに分かれてレポートの作成を行った。

（詳細後記）

⑤視察会

11月に、「中部電力株式会社・浜岡原子力発電所」及び「藤枝市中心市街地再開発事業」の現地視察会を実施した。

（詳細後記）

(2) 広域連携事業

①東三河8市町村長を囲む新春懇談会

新春恒例の事業として、東三河地域における共通の課題・テーマにおいて、東三河8市町村長にゲストパネラーとして本年も湖西市長を加え、パネルディスカッションを実施した。

「地域のための人づくり～持続可能な東三河地域の形成に向けて～」をメインテーマとして、東三河の将来の展望や各市町村の役割など、活発な議論が行われた。なお、地元ケーブルテレビ3局による生中継、YouTubeを活用したオンライン配信を実施した。

（詳細後記、会報誌「MIKAWA-NAVI」特別号に掲載）

②三河港未来戦略会議

「社会変動化における海運・物流の潮流」「自動車産業を取り巻く環境変化と潮流」「2024年のサプライチェーンとコンテナ輸送の今後」をテーマに研究交流会を3回開催した。

（詳細後記）

③東三河生態系ネットワーク協議会

東三河生態系ネットワーク協議会の事務局として、SDGs（持続可能な開発目標）の目標である「14.海の豊かさを守ろう」「15.陸の豊かさも守ろう」を中心に活動を展開した。今年度は、交付金対象事業として月例役員会のほか、リーフレット活用による「協議会への参加呼び掛け」の取組、参加団体活動紹介による「ホームページコンテンツ」の拡充、7月に「自然観察バスツアー」、11月に蒲郡市で「東三河生態系ネットワークフォーラム2023」、同じく豊橋市で「参加団体活動見学会」を開催するなど、生態系保全の重要性について理解を深めていただく活動を行った。また、愛知県より「生物多様性モニタリング調査業務（東三河地域）」を受託し、協議会会員が実施する定例会に合わせ、計14回のモニタリング調査を実施した。

④地域インフラ事業の説明会

4月に「三河港関連事業計画等説明会」を会場にて、7月に「東三河地区幹線道路整備計画に関する説明会」を会場とオンライン併用にて、三河港振興会と共催した。

(詳細後記)

⑤各種団体との連携・協力

中部経済同友会、浜松経済同友会、三河港振興会、東三河県庁等との連携・協力により、会員交流や産学官民連携に向けたセミナーや講演会などの取組を実施した。

(詳細後記)

(3) 会員サービス事業

①広報活動の一層の推進

会員サービス事業では、ウェブサイトの「会員専用ページ」に、会員関連情報などの特定情報を閲覧できるよう提供した。また、会員の皆さまからの有用な情報をタイムリーに本会のホームページに無償で掲載するサービスを実施した。

②会員意見の収集と運営への活用

地域づくりや本会の活動等に関するニーズを把握し、現状活動内容の見直しを行うため、「会員アンケート調査」を実施した。

(詳細後記)

③会員サービスの質的向上

公益社団法人東三河地域研究センターとの情報共有と連携強化を図り、同センターが保有するシンクタンク機能を活用し、会員にとって有益な産学官民交流及び広域連携事業の充実を進めた。

④公益社団法人東三河地域研究センター催事の支援

公益社団法人東三河地域研究センター主催の「東三河地域問題セミナー」を3回開催した。また、3年ぶりの開催となった「ミライカフェほの国2024」、地元大学生による「東三河地域関連研究発表会」の支援を実施した。

(詳細後記)

(4) 会員増強

○新入会

[法人会員] 10口

- ・加山興業株式会社
- ・総合警備保障株式会社
- ・株式会社ニデック
- ・岡田建設株式会社
- ・株式会社構造計画研究所
- ・株式会社C o s e t t e
- ・名古屋テレビ放送株式会社
- ・有限会社伊藤設備サービス
- ・株式会社伊藤園
- ・株式会社サン・カンパニー

(入会順・敬称略)

運営の部

1. 定時総会

令和5年6月12日(月) 15:00～17:00

於：ホテルアークリッシュ豊橋 5階 ザ・グレイス

・議事

議案1. 令和4年度事業報告並びに収支決算報告の件

議案2. 令和5年度事業計画(案)並びに収支予算(案)の件

議案3. 細則一部改定の件

議案4. 役員変更の件

・記念講演 愛知県知事 大村 秀章氏

「日本一元気な愛知をつくる」

出席者：137名(オンライン17名含む：講演後、交流懇親パーティー実施)

2. 理事会

令和5年5月15日(月) 11:00～11:40

於：ホテルアークリッシュ豊橋 5階 ザ・グレイス (オンライン配信も実施)

3. 会員数及び口数の状況

(1) 入会	法人会員	10社	(10口)	
	特別会員	1団体	(1口)	※豊川市副市長分
退会	法人会員	2社	(2口)	
減口	法人会員	1社	(1口)	

(2) 会員数(令和6年3月31日現在)

法人会員	165社	(193口)
個人会員	6名	(6口)
特別会員	12団体	(30口)
推薦会員	1名	—

資料（事業の詳細）

1. 東三河産学官交流サロン 公益社団法人東三河地域研究センターと共催 (年12回、18:00～20:30 於：ホテルアークリッシュ豊橋 5階 ザ・グレイス)

第462回 R5.4.25 参加者100名（オンライン11名含む）

- ・豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 教授 北崎 充晃氏
「バーチャルリアリティとメタバースの心理学」
- ・アイアンマン70.3 東三河ジャパン in 渥美半島 実行委員会 吉村 純氏
「アイアンマン70.3 東三河ジャパン in 渥美半島の概要と将来展望について」

第463回 R5.5.16 参加者52名（オンライン5名含む）

- ・愛知大学 文学部 人文社会学科 教授 土屋 葉氏
「『障害』は『かれら』の問題なのか～『障害の社会モデル』から考える『わたしたち』の社会～」
- ・西日本電信電話株式会社 総務人事部 ESG推進室 ダイバーシティ推進担当 担当課長 甲斐 由記氏
「NTT 西日本グループにおけるD&I(多様性と一体性)推進
～一人ひとりが“自分らしく”チャレンジできる会社づくり～」

第464回 R5.6.27 参加者63名（オンライン12名含む）

- ・豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 准教授 大村 廉氏
「豊橋市スマートシティ化の動向」
- ・LOAグループ グローブ株式会社/神谷薬品株式会社 代表取締役社長 神谷 東樹氏
「農福心連携のソーシャルビジネス 都市型水耕栽培の可能性について」

第465回 R5.7.18 参加者58名（オンライン4名含む）

- ・愛知大学 文学部 教授 樫村 愛子氏
「ジェンダー平等と日本社会」
- ・株式会社リーフ 企画推進グループ グループリーダー 伴 和樹氏
「地域の農業が消費者を集める『オープンファーム』と新事業『さんち』」

第466回 R5.8.22 参加者68名（オンライン4名含む）

- ・豊橋技術科学大学 総合教育院 准教授 稗田 睦子氏
「今の時代だからこそ運動が必要」
- ・西島株式会社 代表取締役社長 西島 豊氏
「一流の製品は一流の人格から ～一生元気、一生現役～」

第467回 R5.9.19 参加者78名（オンライン5名含む）

- ・豊橋創造大学 経営学部経営学科 教授 鈴木 宏幸氏
「デジタル時代とスタートアップでの人づくり」
- ・豊根村長 伊藤 浩亘氏
「あいちのてっぺんの村づくり」

第 468 回 R5.10.17 参加者 71 名（オンライン 9 名含む）

- ・豊橋技術科学大学 機械工学系 教授/先端農業・バイオリサーチセンター長 高山 弘太郎氏
「データ駆使型農業と環境配慮～農業生産の DX を通じた GX の推進～」
- ・地域商社みかわ株式会社 代表取締役社長 青山 貴映氏
「人と人をつないで三河を元気に」

第 469 回 R5.11.28 参加者 75 名（オンライン 9 名含む）

- ・愛知大学 前理事長・前学長 川井 伸一氏
「愛知大学の学びとブランド化について～学長の任期を終えて～」
- ・株式会社スペース 代表取締役社長 村井 美映氏
「物流業界のスタートアップ企業として」

第 470 回 R5.12.26 参加者 74 名（オンライン 7 名含む）

- ・豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 教授 洪澤 博幸氏
「都市地域と産業の経済分析について」
- ・クックマート株式会社 代表取締役社長 白井 健太郎氏
「競争嫌いによる競争戦略 ～クックマートの競争戦略～」

第 471 回 R6.1.23 参加者 58 名（オンライン 3 名含む）

- ・愛知大学 理事長・学長 広瀬 裕樹氏
「保険法と模擬裁判～大学生生活半世紀の中間報告～」
- ・公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 副理事長/次世代自動車センター浜松 センター長 望月 英二氏
「次世代自動車の時代に生き残るための中小企業支援
～次世代自動車センター浜松による中小企業支援の取り組み～」

第 472 回 R6.2.20 参加者 56 名（オンライン 7 名含む）

- ・農林水産省 東海農政局長 森 重樹氏
「食料・農業・農村基本法の見直しに向けて」
- ・豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 教授 田村 昌也氏
「水中でのワイヤレス給電」

第 473 回 R6.3.19 参加者 51 名（オンライン 7 名含む）

- ・愛知工科大学 工学部機械システム工学科 教授 大平 哲也氏
「エンジンがつくるカーボンニュートラル社会」
- ・パーソルテンプスタッフ株式会社 地域共創企画室 室長 立山 正道氏
同 豊橋オフィスマネージャー 加藤 久貴氏
「『はたらいて、笑おう』からはじまる地域共創」

2. 東三河午さん交流会 公益社団法人東三河地域研究センターと共催

(年10回、5、1月を除く毎月第1金曜日を原則 11:30～13:00)

於：ホテルアークリッシュ豊橋 4階 ザ・テラスルーム)

第231回 R5.4.7 参加者 45名

- ・設楽原歴史資料館 館長 湯浅 大司氏
「新しい『長篠・設楽原の戦い』の姿」

第232回 R5.6.2 参加者 29名

- ・漫画家 佐野 妙氏
「地域に根ざした創作活動」

第233回 R5.7.7 参加者 39名

- ・渥美半島とまとランド 小川 浩康氏
「メディア露出40回以上！『農業』の枠を超えた取り組み」

第234回 R5.8.4 参加者 32名

- ・空手道豊空会 始祖師範(主宰) 田部井 淳氏
「武“道”今こそ伝統文化の力」

第235回 R5.9.1 参加者 32名

- ・フリーライター/東日新聞契約ライター 由本 裕貴氏
「東三河の駅・鉄道の魅力」

第236回 R5.10.6 参加者 32名

- ・アイスタイルデザイン 代表 山田 政嗣氏・村井 ゆかり氏
「『季節誌しずく』の制作を通じて見えてきたもの」

第237回 R5.11.10 参加者 27名

- ・シンプルプラス 代表/ナチュラルビューティーコンシェルジュ 福田 美幸氏
「石鹸の魅力とシンプルな暮らしのススメ」

第238回 R5.12.1 参加者 32名

- ・有限会社平川木材 取締役/木軸ペン工房 KIKI 代表 平川 翔一氏
「手のひらに森を感じよう ～木軸(もくじく)ペンの魅力～」

第239回 R6.2.2 参加者 28名

- ・LiE RECORDS 代表 平松 章也氏
「レコードのある生活」

第240回 R6.3.1 参加者 36名

- ・三河古宮城址保存会 副会長/愛知県職員 丹羽 貴裕氏
「愛好家目線の奥三河の城 ～愛と狂気の世界～」

3. 東三河グローアップミーティング

令和5年度 第1回パネルディスカッション「人が輝く東三河」

(R5.5.18 14:00～17:00 於：emCAMPUS STUDIO ROOM#1)

パネリスト

特定非営利活動法人クオーレ 理事長・就労支援インクル管理者/サービス管理責任者 松原 克成氏

公益社団法人豊橋青年会議所 理事長 神尾 翔氏

豊橋市 企画部政策企画課 課長補佐 齋藤 佳世氏

参加者：36名

令和5年度 第2回 視察会&グループワーク「東三河の食と農」

(R5.8.30 9:00～15:00 於：トヨタネ研究農場、emCAMPUS STUDIO ROOM#1)

トヨタネ研究農場の視察、並びに『東三河の食と農』に関するグループワーク

参加者：19名

4. 産学官による新しいネットワークづくりのためのワーキング

【メンバー】

豊橋市 企画部 政策企画課 藤井 宏幸氏

豊川市 総務部 財産管理課 朝倉 源希氏

蒲郡市 企画部 企画政策課 サークュラーシティ推進室 杉浦 太律氏

新城市 企画部 総合政策課 夏目 尚弥氏

田原市 企画部 企画課協働係 木村 直貴氏

愛知県 東三河総局 企画調整部 企画調整課 今泉 誠氏

東三河広域連合 総務課 丸山 征哉氏

株式会社サーラコーポレーション 経営戦略本部 総合企画部 総合企画グループ 杉山 聖氏

中部電力パワーグリッド株式会社 豊川営業所 配電グループ 山田 惇敬氏

豊橋信用金庫 総合企画部 千葉 堂能氏

豊橋鉄道株式会社 財務部 浦部充由氏

NTT ビジネスソリューションズ株式会社 光ビジネス営業部門 吉田 拓也氏

株式会社三井住友銀行 豊橋法人営業部 高家 章徳氏

公益社団法人東三河地域研究センター 高橋 大輔、澤田 貴行

東三河懇話会 福田 裕之、奥田 健

監修 愛知大学 短期大学部 准教授 森川 竜哉氏

第5回ワーキング (R5.6.13 15:00～17:00 於：emCAMPUS STUDIO 5階 ROOM#01)

勉強会テーマ：「外国人人材の受入及び共生社会実現に向けた取組」

講師：静岡文化芸術大学 文化政策学部 国際文化学科 准教授 佐伯 康考氏

第6回ワーキング (R5.8.3 15:00～17:00 於：豊鉄ターミナルビル9階 駅前展望会議室)

勉強会テーマ：「ジェンダー平等と日本社会」

講師：愛知大学 文学部 人文社会学科 教授 櫻村 愛子氏

第7回ワーキング (R5.9.21 15:00～17:00 於：豊鉄ターミナルビル9階 駅前展望会議室)

勉強会テーマ：「地域の雇用とキャリア形成」

講師：愛知大学 短期大学部 准教授 森川 竜哉氏

第8回ワーキング (R5.10.24 15:00～17:00 於：豊鉄ターミナルビル1階C会議室)

第9回ワーキング (R5.12.21 15:00～17:00 於：豊鉄ターミナルビル9階 駅前展望会議室)

第10回ワーキング (R6.1.25 15:00～17:00 於：豊鉄ターミナルビル9階 駅前展望会議室)

第11回ワーキング (R6.2.29 15:00～17:00 於：豊鉄ターミナルビル1階C会議室)

第12回ワーキング (R6.3.28 15:00～17:00 於：豊橋商工会議所 4階402会議室)

5. 視察会

浜岡原子力発電所・藤枝市中心市街地再開発事業視察会 (R5.11.27)

視察先①：中部電力株式会社・浜岡原子力発電所

視察先②：藤枝市中心市街地再開発事業

参加者：25名

6. 令和6年 東三河8市町村長を囲む新春懇談会

(R6.1.9 14:30～17:30 於：ホテルアークリッシュ豊橋 5階 ザ・グレイス)

テーマ：「地域のための人づくり～持続可能な東三河地域の形成に向けて～」

内 容：東三河8市町村長、湖西市長(ゲストパネラー)によるパネルディスカッション

【パネリスト】

豊橋市長	浅井 由崇氏
豊川市長	竹本 幸夫氏
蒲郡市長	鈴木 寿明氏
新城市長	下江 洋行氏
田原市長	山下 政良氏
設楽町長	土屋 浩氏
東栄町長	村上 孝治氏
豊根村長	伊藤 浩亘氏
湖西市長	影山 剛士氏 (ゲストパネラー)

【コーディネーター】

豊橋技術科学大学 前学長/東京大学 名誉教授 大西 隆氏

参加者：173名

※17:30～ 賀詞交歓会 (121名参加)

7. 三河港未来戦略会議

第24期報告総会・記念講演会 (R5.6.26 14:00～15:30 於：豊橋商工会議所 4階406会議室)

講 師：拓殖大学 商学部 国際ビジネス学科 教授 松田 琢磨氏

演 題：「世界のコンテナの荷動きとコンテナ航路誘致」

参加者：44名

第 65 回研究交流会 (R5. 8. 1 14:00~16:00 於：豊橋商工会議所 4 階 406 会議室)

講 師：日本郵船株式会社 自動車物流グループ グループ長 小西 敬之氏

演 題：「社会変動下における海運・物流の潮流
～完成車自動車の物流を中心として～」

参加者：33 名

第 66 回研究交流会 (R6. 2. 21 14:00~16:00 於：豊橋市民センターカリオンビル 6 階 多目的ホール)

講 師：株式会社 FOURIN 日亜調査部 シニアリサーチャー 福田 将宏氏

演 題：「自動車産業を取り巻く環境変化と潮流
～サステナブル経営を軸に社会課題対応と収益両立に挑戦～」

参加者：30 名

第 67 回研究交流会 (R6. 3. 8 14:00~16:00 於：豊橋商工会議所 4 階 406 会議室)

講 師：日本海事新聞社 執行役員編集局長 幡野 武彦氏

演 題：「2024 年のサプライチェーンとコンテナ輸送の今後」

参加者：30 名

8. 講演会、懇談会等

令和 5 年度 三河港関連事業計画等説明会 [三河港振興会と共催]

(R5. 4. 26 14:40~15:10 於：ライフポートとよはし コンサートホール)

説明者：国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所
愛知県 三河港務所

参加者：125 名

令和 5 年度 東三河地区幹線道路整備計画に関する説明会 [三河港振興会と共催]

(R5. 7. 25 13:30~15:30 於：ライフポートとよはし コンサートホール)

講 師：国土交通省 中部地方整備局 名四国道事務所長 鈴木 克章氏

国土交通省 中部地方整備局 浜松河川国道事務所長 名久井孝史氏

国土交通省 中部地方整備局 設楽ダム工事事務所長 田中 康寛氏

愛知県 東三河建設事務所長 齊藤 保則氏

愛知県 新城設楽建設事務所長 原 勝 氏

参加者：139 名 (オンライン 26 名含む)

公益社団法人東三河地域研究センター 総会・記念講演会

(R5. 11. 20 15:00~17:30 於：ホテルアークリッシュ豊橋 5 階 ザ・グレイス)

講 師：大学マネジメント協会 会長 本間 政雄氏

演 題：「大学が危うい、社会が危うい～企業ができること～」

参加者：91 名 (オンライン 7 名含む)

9. 会員アンケート調査

目的：本会活動等に関するニーズの把握と現状活動内容の見直し

実施期間：令和5年12月1日（金）～12月28日（木）

対象数：180（法人162社、個人6名、特別12団体）※推薦会員1名除く

回答方法：「書面」、又は「Google Form」（※記名式）

回答数：89（法人82社、個人1名、特別6団体）

回答率：49.4%（法人50.6%、個人16.7%、特別50.0%）

※アンケート結果をもとに、当地域の産学官民交流のプラットフォームを担う団体としてのプレゼンスを一層高め、「東三河はひとつ」を合言葉に、今後も持続可能な地域づくりを目指していく。

10. 東三河地域問題セミナー（主催：公益社団法人東三河地域研究センター）

2022年度 第1回公開講座(R5.4.19 14:00～16:30 於：豊鉄ターミナルビル 9階 駅前展望会議室)

講師：名古屋大学 環境学研究科 教授 西澤 泰彦氏

演題：「東三河の身近な歴史的建造物を考える～遺産を未来の資産に繋ぐ試み～」

参加者：26名

2022年度 第2回公開講座(R5.7.13 14:00～16:30 於：豊橋商工会議所 4階 406会議室)

講師①：名古屋大学 減災連携研究センター 客員教授/日本気象協会 事業本部 参与
新井 伸夫氏

演題：「巨大地震からの早期復旧をどう実現するか？」

講師②：明海地区防災連絡協議会 会長/株式会社デンソー 豊橋製作所 所長 阿部 守一氏

演題：「明海地区における企業の防災連携」

参加者：60名

2022年度 第3回公開講座(R5.9.4 14:00～16:30 於：豊橋商工会議所 4階 406会議室)

「ドローン技術の社会実装に向けて」

講師①：株式会社田村組 代表取締役社長 田村 太一氏

演題：「東三河ドローン・リバー構想

～ドローン・エアモビリティを活用した新産業の集積を目指して～」

講師②：有限会社森山環境科学研究所 森山 誠氏

演題：「東三河の森林とデジタル化による未来」

講師③：HMK Nexus 株式会社 代表取締役社長 内田 貴啓氏

演題：「ドローンを使った物流問題解決を目指す取組（静岡県の実例）」

参加者：44名

2023年度 第1回公開講座(R5.11.27 15:45～17:00 於：BiVi 藤枝 図書館集会室)

講師：静岡大学 教育学部 准教授 佐藤 正志氏

演題：「地方都市の中心市街地再生に向けた地方自治体の取り組みの意義と課題」

参加者：26名

2023年度 第2回公開講座(R6.1.17 15:45~17:00 於：豊橋商工会議所 4階 406会議室)

講師：一般財団法人日本立地センター 参与 高野 泰匡氏

演題：「産業の立地動向と地域に求められること」

参加者：52名

1 1. ミライカフェほの国2024 (主催：公益社団法人東三河地域研究センター)

(R6.2.3 10:30~15:30 於：emCAMPUS STUDIO SEMINAR ROOM A・B・C)

内容：地元高校生によるビジネスプラン発表とグループワーク

参加者：40名(高校生25名)

1 2. 東三河地域関連研究発表会 (主催：公益社団法人東三河地域研究センター)

第30回東三河地域関連研究発表会 (R6.3.12 13:15~16:30 於：豊橋商工会議所 4階 406会議室)

内容：地元4大学の学生8名による東三河地域に関連した研究テーマの発表

参加者：41名(オンライン9名含む)

1 3. 各種団体、調査委員会等への参加、協力

- (1) 一般社団法人中部経済連合会
- (2) 公益財団法人中部圏社会経済研究所
- (3) 一般財団法人東海産業技術振興財団
- (4) 一般社団法人奥三河ビジョンフォーラム
- (5) 愛知県港湾協会
- (6) 三河港振興会
- (7) 豊かな海“三河湾”環境再生推進協議会
- (8) 伊勢湾再生海域検討会
- (9) 東三河生態系ネットワーク協議会
- (10) 特定非営利活動法人穂の国森づくりの会
- (11) 特定非営利活動法人朝倉川育水フォーラム
- (12) 東三河流域フォーラム
- (13) 一般国道151号改良促進期成同盟会
- (14) 豊橋みなとフェスティバル実行委員会
- (15) 一般社団法人豊橋観光コンベンション協会
- (16) 公益財団法人豊橋市国際交流協会
- (17) 公益財団法人豊橋文化振興財団
- (18) 豊橋日独協会
- (19) とよはし市電を愛する会
- (20) 豊橋市民愛市憲章推進協議会
- (21) 530運動環境協議会
- (22) 愛知県地球温暖化防止活動推進センター

収支決算報告

令和5年度 収支決算書 (令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

収入決算額	36,205,928円
支出決算額	30,949,370円
差引残高	5,256,558円

《 収入の部 》

(単位：円)

科 目	予算額(1)	決算額(2)	差異(2)-(1)	予算比	備 考
1. 会費収入	25,260,000	25,680,000	420,000	101.7%	
1) 法人会費	22,560,000	22,980,000	420,000	101.9%	
2) 個人会費	360,000	360,000	0	100.0%	
3) 特別会費	2,340,000	2,340,000	0	100.0%	
2. 事業収入	5,218,000	4,945,166	△ 272,834	94.8%	
1) 産学官交流サロン	2,800,000	2,969,166	169,166	106.0%	
2) 午さん交流会	1,314,000	1,293,000	△ 21,000	98.4%	
3) 新春懇談会	270,000	260,000	△ 10,000	96.3%	
4) その他の事業	834,000	423,000	△ 411,000	50.7%	
3. その他の収入	3,308,190	3,401,331	93,141	102.8%	
1) 特定預金取崩収入	1,700,000	1,700,000	0	100.0%	
① 減価償却引当特定預金	0	0	0	0.0%	
② 財政調整引当預金	1,700,000	1,700,000	0	100.0%	
2) 雑収入	1,608,190	1,701,331	93,141	105.8%	
① 受取利息	190	561	371	295.3%	
② 雑収入	1,608,000	1,700,770	92,770	105.8%	
当期収入合計	33,786,190	34,026,497	240,307	100.7%	(A)
前期繰越収支差額	2,179,431	2,179,431	0	100.0%	
収入合計	35,965,621	36,205,928	240,307	100.7%	(B)

《 支 出 の 部 》

(単位：円)

科 目	予算額(1)	決算額(2)	差異(2)-(1)	予算比	備 考
1. 運営事業費	1,545,000	931,827	△ 613,173	60.3%	
1) 総会・理事会費	725,000	750,850	25,850	103.6%	
2) 広報費	420,000	111,821	△ 308,179	26.6%	会報誌発行
3) 講演・説明会費	400,000	69,156	△ 330,844	17.3%	
2. 事業費	7,279,000	6,209,851	△ 1,069,149	85.3%	
1) 産学官交流サロン	3,360,000	3,376,345	16,345	100.5%	
2) 午さん交流会	1,262,000	1,133,979	△ 128,021	89.9%	
3) 新春懇談会	650,000	680,262	30,262	104.7%	
4) その他の事業	2,007,000	1,019,265	△ 987,735	50.8%	
3. 調査・研究費	11,420,000	11,577,220	157,220	101.4%	
1) 調査・研究費	8,420,000	8,560,000	140,000	101.7%	研究センター分(会費の1/3)
2) 研究・活動費	3,000,000	3,017,220	17,220	100.6%	
4. 管理費	12,973,300	12,174,207	△ 799,093	93.8%	
1) 給料手当	6,347,000	5,993,967	△ 353,033	94.4%	
2) 福利厚生費	1,172,000	1,068,608	△ 103,392	91.2%	
① 福利厚生費	30,000	2,556	△ 27,444	8.5%	
② 法定福利費	1,142,000	1,066,052	△ 75,948	93.3%	
3) 会議費	10,000	8,820	△ 1,180	88.2%	
4) 旅費交通費	48,000	20,740	△ 27,260	43.2%	
5) 通信運搬費	590,000	538,800	△ 51,200	91.3%	通信機器リース料含む
6) 消耗品費	510,000	455,023	△ 54,977	89.2%	
① 消耗什器備品費	0	0	0	0.0%	
② 消耗品費	510,000	455,023	△ 54,977	89.2%	OA機器リース料含む
7) 修繕費	0	0	0	0.0%	
8) 印刷製本費	210,000	128,700	△ 81,300	61.3%	総会資料
9) 新聞・図書費	185,500	189,540	4,040	102.2%	
10) 水道光熱費	495,000	405,154	△ 89,846	81.8%	
11) 賃借料	2,956,800	2,956,800	0	100.0%	事務所賃借料
12) 交際費	36,000	11,286	△ 24,714	31.4%	
13) 諸会費	353,000	343,000	△ 10,000	97.2%	他団体の年会費等
14) 雑費	60,000	53,769	△ 6,231	89.6%	
5. その他の支出	506,265	56,265	△ 450,000	11.1%	
1) 固定資産購入支出	0	0	0	0.0%	
2) 特定預金繰入支出	506,265	56,265	△ 450,000	11.1%	
① 減価償却引当特定預金	56,265	56,265	0	100.0%	
② 財政調整引当預金	450,000	0	△ 450,000	0.0%	
当期支出合計	33,723,565	30,949,370	△ 2,774,195	91.8%	(C)
当期収支差額	62,625	3,077,127	3,014,502		(A)-(C)
次期繰越収支差額	2,242,056	5,256,558	3,014,502		(B)-(C)

貸借対照表

令和6年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I. 資産の部		
1. 流動資産		
(1)現金	137,058	
(2)預金	6,279,824	
(3)未収入金	118,736	
(4)前払金	246,400	
流動資産合計		6,782,018
2. 固定資産		
(1)設備什器備品	70,336	
(2)電話加入権	213,000	
(3)敷金	2,688,000	
(4)減価償却引当特定預金	2,751,869	
(5)事務所移転費用積立預金	200,000	
(6)財政調整引当預金	1,098,000	
固定資産合計		7,021,205
資産合計		13,803,223
II. 負債の部		
1. 流動負債		
(1)未払金	634,622	
(2)預り金	641,981	
流動負債合計		1,276,603
負債合計		1,276,603
III. 正味財産の部		
正味財産		12,526,620
(うち当期正味財産増加額)		(1,377,127)
負債及び正味財産合計		13,803,223

正味財産増減計算書

令和5年 4月 1日から令和 6年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目	金 額	
I. 増加の部		
1. 資産増加額		
当期収支差額	3,077,127	
減価償却引当特定預金増加額	56,265	
財政調整引当預金増加額	0	
資産増加額計		3,133,392
2. 負債減少額		
負債減少額	0	0
増加額合計		3,133,392
II. 減少の部		
1. 資産減少額		
什器備品減価償却額	56,265	
財政調整引当預金減少額	1,700,000	
資産減少額計		1,756,265
2. 負債増加額		
負債増加額	0	0
減少額合計		1,756,265
当期正味財産増加額		1,377,127
前期繰越正味財産額		11,149,493
期末正味財産合計額		12,526,620

監 査 報 告 書

東三河懇話会
会長 神野 吾郎 殿

東三河懇話会の、令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）収支決算書、正味財産増減計算書、貸借対照表およびその他の計算書類、関係帳簿を監査した結果、いずれも適法かつ正確であることを認めます。

令和6年5月8日

東三河懇話会

監 事 豊橋信用金庫 副理事長

市 川 智 嗣 印

監 事 株式会社三菱UFJ銀行 豊橋支店長

近 藤 崇 印

監 事 中部電力パワーグリッド株式会社 豊橋支社 東三河地区統括長

中 村 光 印

< 参 考 >

三河港未来戦略会議 第25期 収支決算書

(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

収入の部

(単位:円)

科目	予算額(a)	決算額(b)	差異(b-a)	対予算比率 (b/a)	備考
会費収入	1,270,000	1,270,000	0	100%	
研究交流会収入	0	0	0		
事業収入	600,000	0	△ 600,000	0%	
雑収入	20	11	△ 9	55%	
当期収入合計	1,870,020	1,270,011	△ 600,009	68%	
前期繰越収支差額	613,062	613,062			
収入合計	2,483,082	1,883,073	△ 600,009	76%	

支出の部

(単位:円)

科目	予算額(a)	決算額(b)	差異(b-a)	対予算比率 (b/a)	備考
総会費	70,000	97,705	△ 27,705	140%	
研究交流会費	380,000	139,593	240,407	37%	
事業費	1,240,000	193,535	1,046,465	16%	
運営費	500,000	500,660	△ 660	100%	
予備費	293,082	0	293,082	0%	
当期支出合計	2,483,082	931,493	1,551,589	38%	
次期繰越収支差額	0	951,580	△ 951,580	0%	

議案2. 令和6年度事業計画(案)並びに収支予算(案)の件

令和6年度事業計画(案)

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月 31日

1. 基本方針

本年度はロシアによるウクライナ侵攻の長期化、イスラエルとハマスの対立に端を発した中東情勢の不安定化、中国とアメリカの覇権争い、グローバルサウスの台頭、アメリカ大統領選挙など国際情勢は大きな転換期を迎えていることに加え、国内においては人口減少や少子高齢化、人手不足、社会保障費の拡大、財政赤字、エネルギー問題、デジタル化やグローバル化への対応などの構造的課題が山積しており、当地域における企業活動や消費活動にも少なからず影響が及ぶことが懸念されます。

このような状況下において、地域課題の解決から新たな価値を創造し、住民本位で持続的発展が可能な地域社会の実現を目指す取組が必要となっています。また、企業の事業継続や持続的成長のため、地域の人的資源の有効活用に加え、高度なデジタル技術を取り入れたサービスや新製品の開発、新規事業の立ち上げ、スタートアップ企業との連携など多彩な取組が求められています。

今年度はこうした背景を踏まえ、「東三河産学官交流サロン」をはじめとする産学官民交流事業につきましては、持続可能な地域を実現するための視点をテーマとして設定し、オンラインを併用しながら事業を推進してまいります。また、地域の課題解決のヒントとなる講演会や視察会を企画し、産学官民交流の新たな場づくりにつながる取組を行っていくとともに、公益社団法人東三河地域研究センターにおける「スマートリージョン研究会」に係るプロジェクトの具現化に対する勉強会やワーキンググループの取組を推進してまいります。

広域連携事業につきましては、関係機関との良好な関係を保持するとともに、「東三河8市町村長を囲む新春懇談会」、東三河に係る「地域インフラ事業説明会」、「三河港未来戦略会議」における研究交流会や視察会、また関係団体と連携した「特別講演会」の開催などを通じて、会員の皆さまに有用な情報を提供してまいります。

会員サービス事業につきましては、ホームページにおけるタイムリーな情報提供に加え、本会に関する事業計画や会員の皆さまからご提供いただいた情報を集約した「メールマガジン」を毎月発行する取組を継続してまいります。その他、昨年実施した会員の皆さまへのアンケートやヒアリング結果の事業活動への反映、公益社団法人東三河地域研究センターとの一層の連携強化により、有益な情報の提供と会員サービスの充実に努めてまいります。

まだまだ先行きが不透明な状況が続きますが、今後も会員の皆さまとの結束力を一層高めながら地域のつながりを進めるネットワークセンターの役割を果たし、「東三河はひとつ」を合言葉に、未来に向けた地域づくりを鋭意進めていく所存です。

2. 事業計画

(1) 産学官民交流事業

①東三河産学官交流サロン（12回／年）

産学官民の交流連携、情報交換の場をオンライン併用にて提供。半期ごとにテーマを設け、東三河の産学官民の講師や外部講師を招聘し、会員にとって「知」の場となるタイムリーな情報を発信する。また、新しい企画の実施などにより、会員との双方向のコミュニケーション促進を図る。

②東三河午さん交流会（10回／年）

地域に密着したさまざまな話題をピックアップ。主に、東三河において社会活動や文化芸術活動を実践し、地域づくりに貢献されている方々を紹介し、会員への情報発信を行う。

③東三河グローアップミーティング（3回／年）

本会会員の次世代を担う人材の育成と、地域の価値を発見・認識することによる地域への理解や愛着を深めることを目的とし、「地域の価値を見つけてひらく」をテーマに、講演会・勉強会等を通じて学び、成長したいと考えている方々が集い、交流する場を創出する。本年度も emCAMPUS と協力をを行い、本会会員の若手メンバーと、会員外団体等の若手との交流機会を設けることにより、地域の人的ネットワークの充実を図る。

④特別講演会

デジタルツールの活用や人的資源の活用方法、地域問題に対する取組事例など、経済社会環境の変化に対応し、東三河地域の持続的な発展のヒントとなる内容の講演会を検討し、実施する。

⑤視察会

経済社会環境の変化や、東三河において話題となっている地域テーマを選定し、東三河地域の持続的な発展や、広域的な連携の参考となる場所、施設等の視察会開催を検討し、実施する。

⑥「スマートリージョン研究会」プロジェクトの具現化

公益社団法人東三河地域研究センターにおける「スマートリージョン研究会」に係るプロジェクトの具現化に対する勉強会やワーキンググループの取組を推進する。

(2) 広域連携事業

①東三河8市町村長を囲む新春懇談会

新春恒例の事業。東三河地域における共通の課題・テーマに関し、東三河8市町村長にゲストパネラーとして湖西市長を加えたパネルディスカッションにより、東三河のこれからの姿を展望するとともに、会員をはじめ地域住民に広く情報発信する。

②三河港未来戦略会議

三河港振興会・自動車港湾委員会等と連携をとりながら研究活動を計画。三河港を中心として、広域幹線道路などの広域インフラの整備、DX化等による効率化、カーボンニュートラルポートの形成や経済活動などに関わる事業活動について、未来を見据えながら調査研究を進めるとともに、研究テーマに関わる研究交流会・視察会の開催、ニューズレターの発行、会員企業と連携したプロジェクトの検討、提案などを行う。

③東三河生態系ネットワーク協議会

東三河生態系ネットワーク協議会の事務局として、SDGs（持続可能な開発目標）の目標である「14.海の豊かさを守ろう」「15.陸の豊かさを守ろう」を中心に活動を展開し、自然とのふれあい体験事業や生態系フォーラムを開催するとともに、協議会加入団体の活動への支援・協力、並びに企業や団体の協議会への参加呼び掛けを実施する。

④地域インフラ事業の説明会

「三河港関連事業整備計画等説明会」、「東三河地区幹線道路整備計画に関する説明会」等を主催し、東三河地域で進むインフラ等の計画・進捗状況について、関係機関と連携しながら会員等に情報発信する。

⑤各種団体との連携・協力

中部経済同友会、浜松経済同友会、三河港振興会、東三河県庁等との連携・協力により、講演会の企画など会員交流や産学官民連携に向けた取組を推進する。

(3) 会員サービス事業

①広報活動の一層の推進

会報誌「MIKAWA—NAV I」（季刊）を本会ホームページに掲載する。
本会主催の各種催事の開催案内などを、本会ホームページでタイムリーに情報発信する。
(URL <https://www.konwakai.jp/>)

②会員（地域）情報の収集とメールマガジンによる発信

本会に関する事業計画や会員の皆さまからご提供いただいた情報を集約した「メールマガジン」を毎月発行する取り組みを継続するとともに、会員への有益な情報の発信に努める。

③会員意見の収集と運営への活用

会員への定期訪問等によるヒアリング調査を実施することで、地域づくりや本会の活動等に関するニーズを把握し、現状活動内容の見直しを行うことにより、会員にとってより価値のある事業運営を実現する。

④会員サービスの質的向上

公益社団法人東三河地域研究センターとの情報共有と連携強化を図り、同センターが保有するシンクタンク機能を活用し、会員にとって有益な産学官民交流および広域連携事業の充実を図る。また、本会ホームページに会員からの有用な情報を無償で掲載する。

⑤公益財団法人東三河地域研究センター催事の支援

東三河の現状と将来を考え、地域をリードする人材育成のための基礎的・専門的な知識を得る場として、公益財団法人東三河地域研究センターが主催する「東三河地域問題セミナー」を会員内外に広く周知し、動員を図る。

(4) 会員増強

東三河の産学官民交流の場としてのコミュニケーションセンター機能を充実させ、会員相互の交流による地域連携の有益性を訴求し、広く地域の方々に提議する。併せて、商工会議所、商工会の会員企業、青年会議所等他団体との交流を深め、本会に未加入の企業に対する勧誘活動を推進するなど、会員の増強を図る。

令和6年度
収支予算(案)
(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

《 収入の部 》

(単位：円)

科 目	令和6年度	令和5年度	令和5年度	前年	備 考
	予算額	決算額	予算額	予算比	
1. 会費収入	25,698,000	25,680,000	25,260,000	101.7%	
1) 法人会費	22,920,000	22,980,000	22,560,000	101.6%	
2) 個人会費	360,000	360,000	360,000	100.0%	
3) 特別会費	2,418,000	2,340,000	2,340,000	103.3%	
2. 事業収入	4,552,000	4,945,166	5,218,000	87.2%	
1) 産学官交流サロン	2,620,000	2,969,166	2,800,000	93.6%	
2) 午さん交流会	1,257,000	1,293,000	1,314,000	95.7%	
3) 新春懇談会	120,000	260,000	270,000	44.4%	
4) その他の事業	555,000	423,000	834,000	66.5%	
3. その他の収入	1,030,600	3,401,331	3,308,190	31.2%	
1) 特定預金取崩収入	0	1,700,000	1,700,000	0.0%	
① 減価償却引当特定預金	0	0	0	0.0%	
② 財政調整引当預金	0	1,700,000	1,700,000	0.0%	
2) 雑収入	1,030,600	1,701,331	1,608,190	64.1%	
① 受取利息	600	561	190	315.8%	
② 雑収入	1,030,000	1,700,770	1,608,000	64.1%	
当期収入合計	31,280,600	34,026,497	33,786,190	92.6%	(A)
前期繰越収支差額	5,256,558	2,179,431	2,179,431	241.2%	
収入合計	36,537,158	36,205,928	35,965,621	101.6%	(B)

《 支 出 の 部 》

(単位：円)

科 目	令和6年度	令和5年度	令和5年度	前年	備 考
	予算額	決算額	予算額	予算比	
1. 運営事業費	1,439,000	931,827	1,545,000	93.1%	
1) 総会・理事会費	825,000	750,850	725,000	113.8%	
2) 広報費	14,000	111,821	420,000	3.3%	
3) 講演・説明会費	600,000	69,156	400,000	150.0%	
2. 事業費	7,780,000	6,209,851	7,279,000	106.9%	
1) 産学官交流サロン	3,600,000	3,376,345	3,360,000	107.1%	
2) 午さん交流会	1,240,000	1,133,979	1,262,000	98.3%	
3) 新春懇談会	740,000	680,262	650,000	113.8%	
4) その他の事業	2,200,000	1,019,265	2,007,000	109.6%	
3. 調査・研究費	11,624,000	11,577,220	11,420,000	101.8%	
1) 調査・研究費	8,566,000	8,560,000	8,420,000	101.7%	研究センター分(会費の1/3)
2) 研究・活動費	3,058,000	3,017,220	3,000,000	101.9%	
4. 管理費	9,443,800	12,174,207	12,973,300	72.8%	
1) 給料手当	3,596,000	5,993,967	6,347,000	56.7%	
2) 福利厚生費	670,000	1,068,608	1,172,000	57.2%	
① 福利厚生費	30,000	2,556	30,000	100.0%	
② 法定福利費	640,000	1,066,052	1,142,000	56.0%	
3) 会議費	10,000	8,820	10,000	100.0%	
4) 旅費交通費	48,000	20,740	48,000	100.0%	
5) 通信運搬費	555,000	538,800	590,000	94.1%	
6) 消耗品費	457,000	455,023	510,000	89.6%	
① 消耗什器備品費	0	0	0	0.0%	
② 消耗品費	457,000	455,023	510,000	89.6%	
7) 修繕費	0	0	0	0.0%	
8) 印刷製本費	60,000	128,700	210,000	28.6%	
9) 新聞・図書費	192,000	189,540	185,500	103.5%	
10) 水道光熱費	440,000	405,154	495,000	88.9%	
11) 賃借料	2,956,800	2,956,800	2,956,800	100.0%	
12) 交際費	36,000	11,286	36,000	100.0%	
13) 諸会費	353,000	343,000	353,000	100.0%	
14) 雑費	70,000	53,769	60,000	116.7%	
5. その他の支出	956,265	56,265	506,265	188.9%	
1) 固定資産購入支出	0	0	0	0.0%	
2) 特定預金繰入支出	956,265	56,265	506,265	188.9%	
① 減価償却引当特定預金	56,265	56,265	56,265	100.0%	
② 財政調整引当預金	900,000	0	450,000	200.0%	
当期支出合計	31,243,065	30,949,370	33,723,565	92.6%	(C)
当期収支差額	37,535	3,077,127	62,625		(A) - (C)
次期繰越収支差額	5,294,093	5,256,558	2,242,056		(B) - (C)

<参 考>

三河港未来戦略会議 第26期収支予算(案)

(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

収入の部

(単位:円)

科目	第26期予算	第25期予算	第25期決算	備考
会費収入	1,220,000	1,270,000	1,270,000	
研究交流会収入	0	0	0	
事業収入	200,000	600,000	0	
雑収入	20	20	11	
当期収入合計	1,420,020	1,870,020	1,270,011	
前期繰越収支差額	951,580	613,062	613,062	
収入合計	2,371,600	2,483,082	1,883,073	

支出の部

(単位:円)

科目	第26期予算	第25期予算	第25期決算	備考
総会費	200,000	70,000	97,705	
研究交流会費	380,000	380,000	139,593	
事業費	900,000	1,240,000	193,535	
運営費	501,000	500,000	500,660	
予備費	390,600	293,082	0	
当期支出合計	2,371,600	2,483,082	931,493	
次期繰越収支差額	0	0	951,580	

議 案 3. 役員改選の件

役 職	退 任	就 任
常任理事	トピー工業(株)豊橋製造所 執行役員所長 野秋 明弘	トピー工業(株)豊橋製造所 執行役員所長 上手 研二
同	トヨタ自動車(株) 田原工場長 岡山 真澄	トヨタ自動車(株) 田原工場長 瀬理 正宏
理事	アオキトランス(株) 取締役社長 小島 泰樹	アオキトランス(株) 取締役海貨本部長 松永 敏之
同	(株)静岡銀行 豊橋支店長 山本 重雄	(株)静岡銀行 豊橋支店長 平林 秀哲
同	(株)総合開発機構 代表取締役副社長 鈴木 康史	(株)総合開発機構 代表取締役副社長 伊藤 信一
同	総合埠頭(株) 代表取締役社長 廣瀨 全洋	総合埠頭(株) 代表取締役社長 二谷 勉
同	東海C S (株) 代表取締役社長 田中 猛	東海C S (株) 代表取締役社長 河合 則子
同	トピー海運(株) 代表取締役社長 志村 誠	トピー海運(株) 代表取締役社長 飯塚 剛
監事	中部電力パワーグリッド(株) 豊橋営業所長 牧 眞司	中部電力パワーグリッド(株) 豊橋支社 東三河地区統括長 中村 光

※任期は、令和8年度定時総会の終結の時までとする。

令和6年度 東三河懇話会役員名簿（案）

※太字は変更部分を示す

会 長	(株)サーラコーポレーション 代表取締役社長兼グループ代表・CEO	神野吾郎
副会長	(株)トヨタテック 代表取締役会長	小野喜明
同	(株)ニデック 代表取締役社長	小澤素生
同	イノチオホールディングス(株) 代表取締役社長	石黒 功
同	ヤマサちくわ(株) 代表取締役社長	佐藤元英
同	(株)田村組 代表取締役社長	田村太一
専任理事	東三河懇話会	福田裕之
常任理事	(株)アイゼロ 代表取締役社長	盛田 智
同	オーエスジー(株) 代表取締役会長兼CEO	石川則男
同	(株)オノコム 代表取締役会長	小野喬四朗
同	蒲郡信用金庫 理事長	竹田知史
同	小池商事(株) 代表取締役社長	小池高弘
同	壽鑛業(株) 取締役会長	河合利則
同	サーラエナジー(株) 代表取締役社長	鈴木敬太郎
同	新東工業(株) シニアアドバイザー	久野恒靖
同	鈴与(株) 豊橋支店長	永田智大
同	(株)総合開発機構 代表取締役社長	前田英範
同	総合ポートサービス(株) 代表取締役社長	豊田正博
同	(株)大三コーポレーション 代表取締役	松井孝悦
同	中部電力パワーグリッド(株) 豊橋支社長	小林敏博
同	(株)デンソー 豊橋製作所長	阿部守一
同	トピー工業(株) 豊橋製造所執行役員所長	上手研二
同	豊川信用金庫 理事長	真田光彦
同	トヨタ自動車(株) 田原工場長	瀬理正宏
同	豊橋鉄道(株) 代表取締役社長	小笠原敏彦
同	豊橋三菱ふそう自動車販売(株) 代表取締役会長	鈴木伊能勢
同	西島(株) 代表取締役社長	西島 豊
同	西日本電信電話(株) 東海支店ビジネス営業部 三河営業支店長	宮本順子
同	日東電工(株) 理事豊橋事業所長	井田 太
同	丸利建設(株) 代表取締役	権田知宏
同	三菱ケミカル(株) 東海事業所 愛知企画管理部長	笠坊行生

理事	アオキトランス(株) 取締役海貨本部長	松永敏之
同	岡崎信用金庫 理事長	田中秀明
同	鹿島建設(株) 執行役員中部支店長	秋田大次郎
同	川北電気工業(株) 代表取締役社長	大津正己
同	(株)サーラホテル&レストランズ 取締役	梅岡浩昭
同	(株)静岡銀行 豊橋支店長	平林秀哲
同	(株)清水銀行 代表取締役頭取	岩山靖宏
同	鈴与(株) 取締役会長	鈴木與平
同	(株)総合開発機構 代表取締役副社長	伊藤信一
同	総合埠頭(株) 代表取締役社長	二谷 勉
同	大成建設(株) 常務執行役員中部支店長	鈴木淳司
同	(株)中日新聞社 代表取締役社長	大島宇一郎
同	(株)中部 代表取締役社長	樽林孝尚
同	東海CS(株) 代表取締役社長	河合則子
同	(株)トーエネック 豊橋営業所長	池端伸一
同	トピー海運(株) 代表取締役社長	飯塚 剛
同	(株)名古屋銀行 取締役頭取	藤原一朗
同	日本通運(株) 豊橋支店長	小島英史
同	本多プラス(株) 代表取締役社長	本多孝充
同	(株)三井住友銀行 豊橋法人営業部長	浜守基彰
同	三井住友信託銀行(株) 豊橋支店長	日野恵里加
同	ユタカコーポレーション(株) 代表取締役社長	大塩啓太郎
監事	豊橋信用金庫 副理事長	市川智嗣
同	(株)三菱UFJ銀行 豊橋支店長	近藤 崇
同	中部電力パワーグリッド(株) 豊橋支社 東三河地区統括長	中村 光

(敬称略)

<メモ欄>

東 三 河 懇 話 会

〒440-0888 豊橋市駅前大通3-53 太陽生命豊橋ビル2階

TEL (0532)55-5141 FAX (0532)56-0981

E-mail info@konwakai.jp

URL <https://www.konwakai.jp/>